

消費者ネットワーク

2009年10月1日
第148号
全国消費者団体連絡会
発行責任者 阿南 久
TEL: 03-5216-6024
FAX: 03-5216-6036



9月23日「食と科学—生命の対話—」が開催されました
9月25日 緊急集会「エコナの安全性を問う会」を開催しました

●●●●●●●● クレブス卿特別講演会&パネルディスカッション 「食と科学—生命の対話—」開催 ●●●●●●●●



9月23日クレブス卿特別講演会&パネルディスカッション「食と科学—生命の対話—」が開催されました。パネルディスカッション「食の安全に向けて我々は何をなすべきか」に全国消団連事務局長の阿南久がパネリストとして参加しました。ジョン・クレブス卿の講演は「リスク回避と食品技術の開発・発展」についての話が分かりやすく、人類のリスク認知の到達点を整理し今後の課題を整理するうえでとても参考になる内容でした。この特別講演を受け、会場からの質問に応えながら各パネリストの発言がありました。阿南からは「消費者がなじみのないもの、未知の物に対して漠然たる不安を持つのは決して不思議なことではなく、現在は五感（視、聴、嗅、味、触）のはたらかしや食べる知恵の伝達などが不十分な時代状況にある。そのなかで、いかに消費者のリテラシーを高めるかが鍵になっており、消費者の素朴な疑問や怒りをまともにも聴いて、丁寧に対応する『消費者庁』としての今後の積み上げに期待している。」などの発言を行いました。

●●●●●●●● 緊急集会「エコナの安全性を問う会」開催 ●●●●●●●●

9月25日「エコナの安全性を問う会」が東京四ツ谷の主婦会館で開催され、約160人が参加しました。花王株式会社が9月15日にエコナ製品の「一時販売自粛・出荷停止」を決定し、17日には全国42紙へ社告掲示行ったことに関連して、「健康エコナクッキングオイルなど『高濃度にジアシルグリセロールを含む食品』は安全か、一時販売・出荷停止を考える」との標題で主催者から問題提起の文章が配布されました。食品安全委員会、厚生労働省、消費者庁、花王株式会社の担当者からそれぞれ報告があり、会場の参加者からは特定保健用食品の認可取り消しを厚生労働省・消費者庁の担当者へ、特定保健用食品の認可取り下げを花王株式会社の担当者に求める発言がありました。これに対して花王側からは「今年6月にエコナクッキングオイルにグリシドール脂肪酸エステルが一般食用油よりも相対的に多く含まれていることがあったので、一般食用油並まで低減できるまで一時販売自粛・出荷停止行うことにした。」「グリシドール脂肪酸エステルについては、現時点までの情報・調査からは安全性への懸念を明確に示す報告はない。」などの説明がありました。



もくじ

9月の消団連/もくじ	1
“消費者主役の社会づくり”に向けて、チェンジ!にチャレンジ!	2・3
安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議について	4・5
消費者行政充実検討委員会で消費者行政についての議論を進めています	6
全国消団連のインターンシップを終えて	7
国際消費者機構(CI)のCOP15キャンペーンとCIの気候変動対応政策	8・10
会員団体活動紹介(10月~11月の活動予定)	11
会員団体活動紹介(10月~11月の活動予定)/全国消費者大会案内/編集後記	12